

AIDS

エイズを正しく理解しよう!

中学生用エイズ教育教材



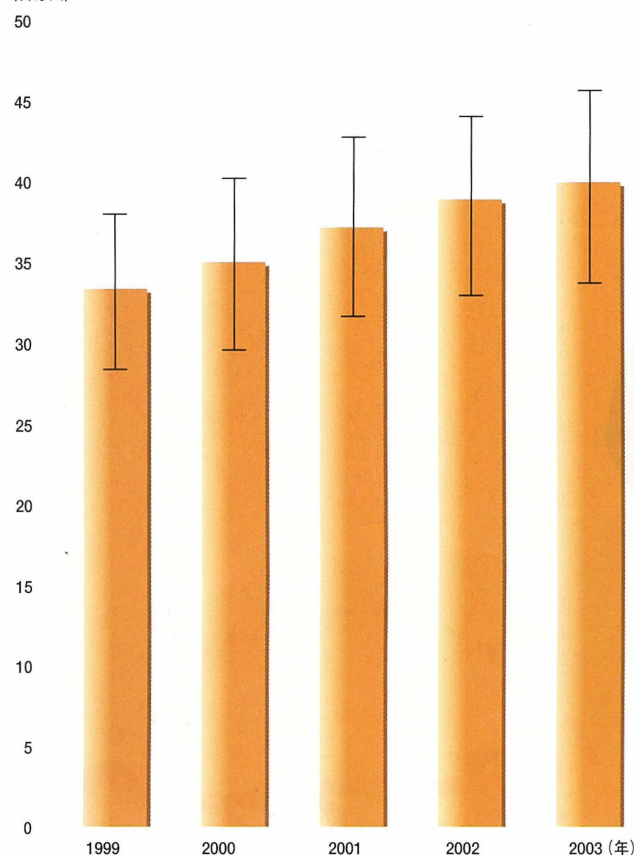
知ってる?
エイズの
ほんと。

エイズを理解してください……
誤解や偏見をなくしましょう。

「エイズは自分と関係ない」と考えていませんか？

■ HIV感染者・エイズ患者推計数 1999—2003

感染者・
患者数
(百万人)



印は推計値の（実際の数値が存在する）範囲を示す。

資料：国連共同エイズ計画，WHO（世界保健機関）

世界のHIV感染者・エイズ患者の推計総数（2003年末現在）



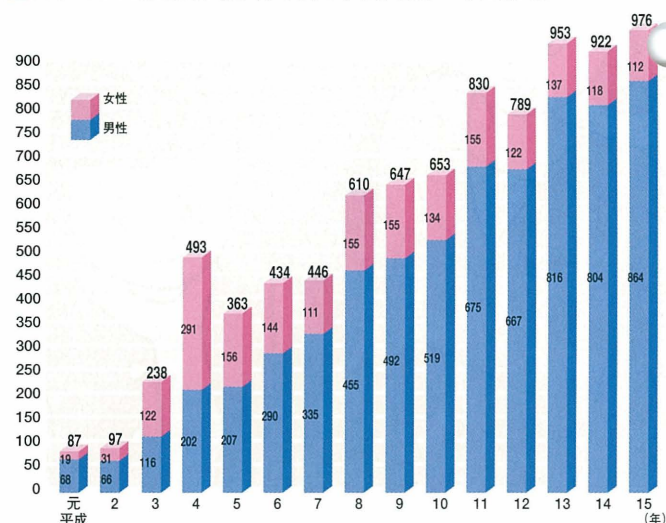
資料：国連共同エイズ計画，WHO（世界保健機関）

世界中でエイズのウィルスに（以下「HIV」とする）感染する人が増えています。

世界中でのHIV感染者・エイズ患者推計数は3,400万人～4,600万人（2003年末現在）にのぼると推計されています。

我が国でも、特に若い世代を中心にHIVに感染する人が増加しています。

■ 日本のHIV感染者（患者を含む）届出数の年次推移



資料：厚生労働省エイズ動向委員会

エイズという病気を正しく理解していましたか。

HIVの感染経路は限られており、学校などのふだんの生活ではうつりません。しかし、かつてはHIVに感染した人がホテルで宿泊を断られたり、外国では感染した子どもが登校を拒否されたり、といった例がありました。

これらの問題を解決するカギは、
エイズに関する正しい理解です。
**この冊子でエイズについて
学習しましょう。**

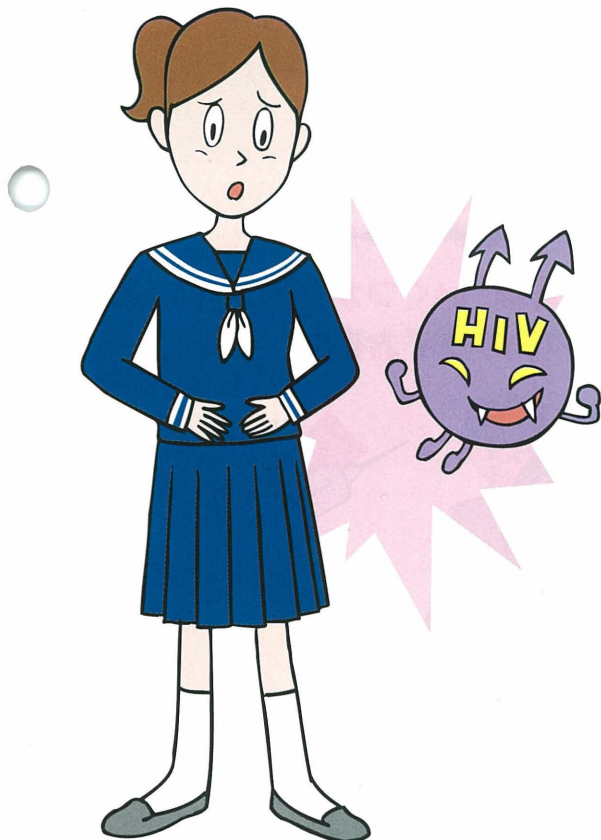
「エイズとは、どんな病気なの？」

エイズのウィルスは 免疫を破壊します。

エイズとは、HIVに感染して起こる病気で、感染すると病原体などから体を守る「免疫」という働きが破壊されていきます。その結果、様々な感染症などにかかります。このように免疫が働かなくなる状態を免疫不全といいます。

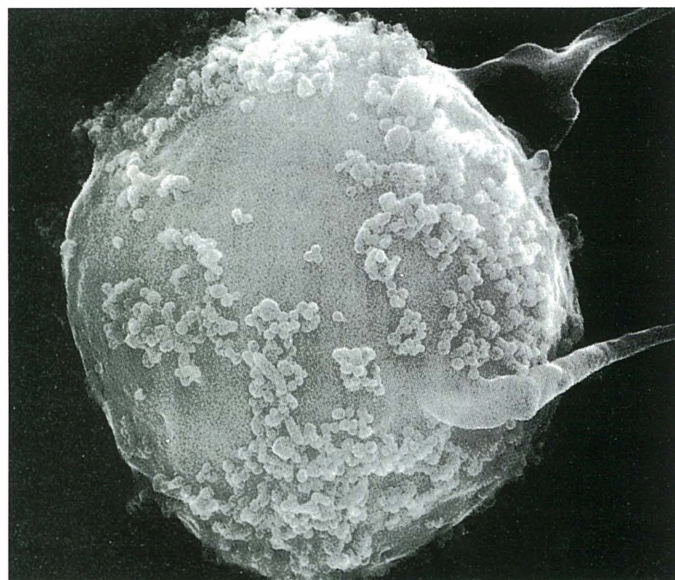
人間は、目に見えない多くの微生物と一緒に暮らしています。その中には、病気を起こす微生物がいます。それでも病気にならないのは、人間の体の中に、病原体から体を守る「免疫」という働きがあるからです。その働きの主役は白血球です。

ところが、HIVは白血球の一種であるリンパ球の中で増え、これを破壊します。そのため侵入する病原体から体を守る働きがなくなり、ふだん病気を起こさないような弱い病原体によっても重い感染症が引き起こされるのです。これが免疫不全です。



HIVに感染したリンパ球

表面に群がるように付いているたくさんの小さな粒子がウィルス



HIV粒子の電子顕微鏡写真
(写真提供:岡山大学医学部 新居志郎教授)

【ウィルス】

細菌より小さく直径約 $1/40,000 \sim 1/1,000$ mmの感染性の粒子のことで、ほかの生物に寄生して初めて増えることができます。

【エイズ】

Acquired **I**mmunode**f**iciency **S**yndromeを略し、**AIDS** (エイズ)と呼んでいます。日本語では、後天性免疫不全症候群と名付けられています。

【エイズのウィルス】

Human **I**mmunode**f**iciency **V**irusを略し、**HIV**と呼んでいます。日本語では、ヒト免疫不全ウィルスと名付けられています。

「HIVに感染すると、どうなるの？」

感染と潜伏期

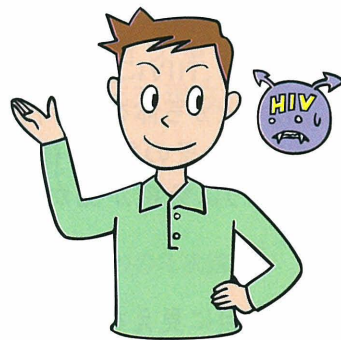
たいていの場合、HIVに感染しても何も症状がありません。このような期間を潜伏期といい、治療しなければ10年前後といわれています。この間は、学校や職場でも感染する前と同じ生活を送ることができます。しかし、無症状の間でも他人に感染する可能性があります。

エイズ

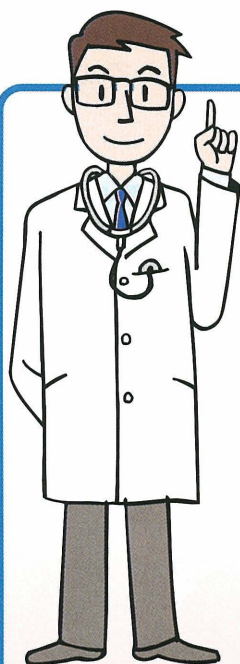
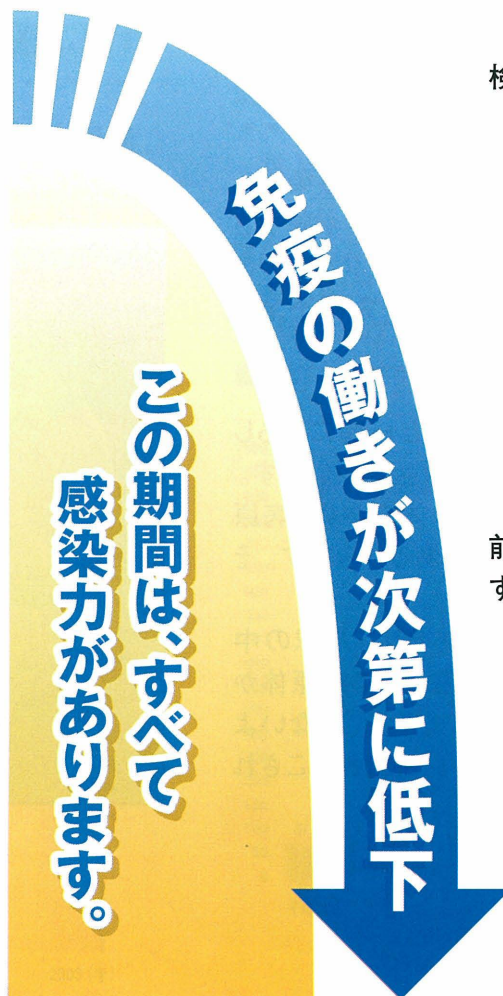
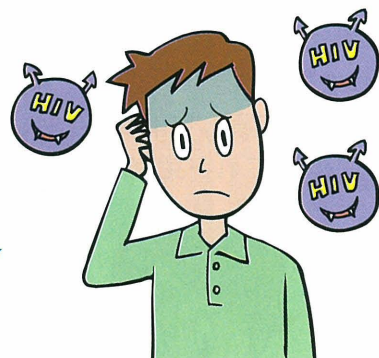
免疫の働きがさらに低下すると、体の抵抗力が一層弱まり、ふだん病気を起こさないような弱い病原体による感染症やがん、神経症状などが現れます。これがエイズの発病です。

薬の使用によって発病を遅らせることなどができるようになりました。しかしながら、根本的な治療方法はありません。

感染の有無は保健所等で血液検査をすればわかります。



他の病気と同様、症状の発現前に早く診断し、早く治療を開始することによって薬の効果が出ます。



エイズに限らず、血液からうつる病気は、いくつか知られています。基本的な習慣として、次のことを身に付けておきたいですね。



体や衣服に血液が付いたらなるべく早く洗い流しましょう。



かみそりや歯ブラシ、くし、タオルなど、血液が付きやすい日用品は、自分専用にしましょう。



注射器など血液が付いているかも知れないものには、触れないようにしましょう。

「どうしたら、うつるの?」「どうすれば、うつらないの?」

感染症のうつり方

病原体が身体に入っておこる病気が感染症ですが、入り方には、

- ・飲食物に混じって口から入る
- ・空気を介してうつる
- ・血液や粘液等を介してうつる

などがあります。

性感染症は、性行為の時、血液や粘液等を介して人から人にうつるものです。代表的なものには、梅毒、淋病、クラミジア感染症などがあり、HIVも性感染症の一つです。

HIVのうつり方

HIVは、感染している人の血液、精液、ちつ えき 膣液に多く含まれ、性器の粘膜や皮膚の傷口から感染します。

HIVは、感染力の弱いウィルスです。このため、感染するのは、次の三つの経路で、これ以外の普段の生活では感染することはありません。

HIVの感染経路

○性行為による感染

感染している人との性行為で感染することがあります。近年、性行為により感染する人が増えています。

○血液からの感染

感染している人との注射器の共用などで感染することがあります。麻薬、覚せい剤などの薬物乱用者の間で、注射器の針や筒の共用による感染が広がっています。



○母子感染

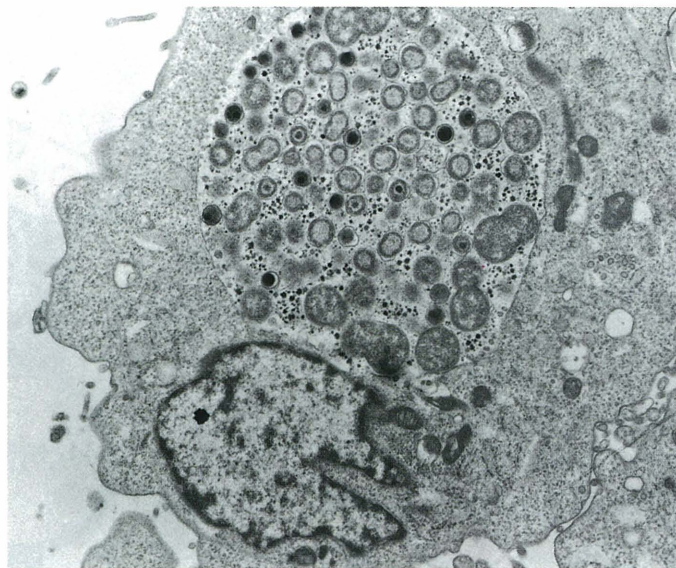
感染している母親から、体内であるいは出産時や母乳を通して赤ちゃんへ感染することがあります。



性感染症とその予防

近年、性行為によってうつる性感染症 (STD) の増加が問題になっています。中でも、クラミジア感染症が十代後半から、二十代の若い世代に急増しており心配されています。HIVも主な感染経路が性行為であることから、クラミジア感染症の増加はHIVに感染するおそれにつながっているのです。

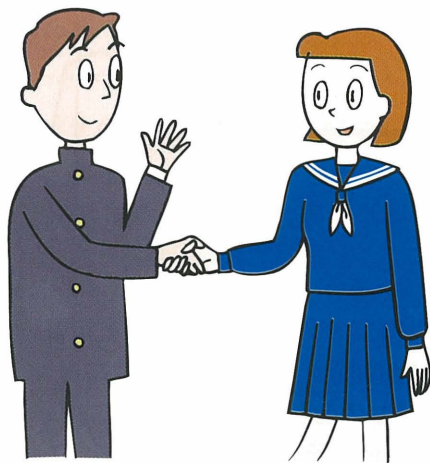
性感染症を予防するには、性行為をしないことがもっとも有効です。また、病原体との接触を防ぐために、コンドームを使う事も有効な方法である事を将来のために知っておきましょう。



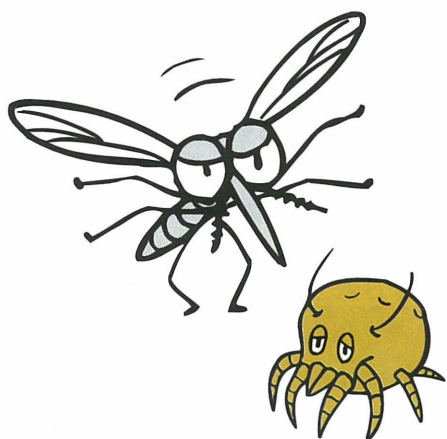
クラミジアの顕微鏡写真
(写真提供: 国立感染症研究所 岸本寿男室長)

クラミジアとは細菌とウィルスの間にあたる病原体で、肺炎や結膜炎 (トラコーマ) などの病気も起こします。上の顕微鏡写真で、細胞の中に見える濃く染まった部分が増えたクラミジアのかたまり (封入体 ふうにゅうたい) です。

「大丈夫、こんなことではうつりません」



■握手などではうつりません。



■カやダニなどからはうつりません。
(その理由はQ&Aで確かめてみましょう。)



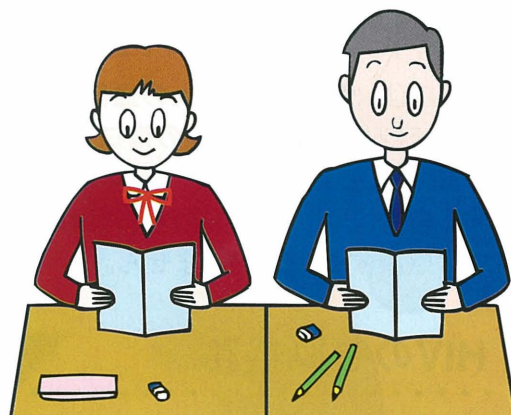
■お風呂やプールなどではうつりません。

正しい理解が 不安を除きます。

HIVの感染力は弱く、感染経路が限られています。
学校などのふだんの生活で感染することはありません。



■せきやくしゃみ、だ液、汗、涙などからはうつりません。



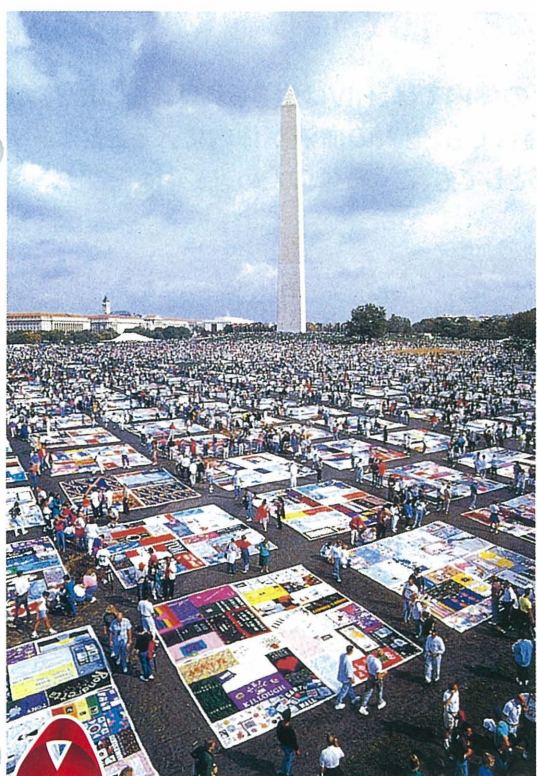
■食事や勉強など、ふだんの生活ではうつりません。



■洋式トイレの便座や電車のつり革など、器物からはうつりません。

「誤解や偏見をなくしましょう」

エイズは地球全体の共通の問題です。世界中で多くの人々が、HIVに感染した人々と共に、この問題に取り組んでいます。



レッドリボン運動

レッドリボン運動は誰でも参加できる思いやり運動です。病気や事故で人生を全うできなかった人々の死を悼む心を表すため、赤いリボンをつける習慣がヨーロッパにありました。ニューヨークでエイズがまん延し、多数のアーティストやミュージシャンが20歳代の若さでこの世を去って行くのを悼む気持ちから、この運動が生まれました。

ワシントン・モニュメントのもとに広げられた20,000枚を超えるメモリアルキルト。

メモリアルキルトは、エイズで亡くなった人々の家族や友人の手で縫われ続けています。

(写真提供:メモリアル・キルト・ジャパン)



これまで

HIVに感染した人や家族が、誤解や偏見による差別を受けている事実がありました。

エイズという言葉が、いじめやかからかいに使われることがありました。

今では

HIVに感染した人たちが、予防の大切さを訴えています。

また多くの人たちが、HIVに感染した人の気持ちを受け入れ、感染者の心の支えになっています。

これから

エイズについての正しい知識をもって、エイズを予防し、HIVに感染した人に対する誤解や偏見をなくしましょう。

**HIVに感染した人々と共に、希望をもって
生きる社会をつくりましょう。**

Q&A エイズ



Q 同じクラスや学校にHIVに感染した人がいたら、感染する心配がありますか？

A そのような心配はありません。HIVは大変感染力が弱く、熱や消毒液にも弱いウィルスです。また、感染経路は限られており、ふだんの生活で感染することはありません。

Q HIVに感染した人と手を触れたり、会話しても大丈夫ですか？

A 握手など普通の接触は大丈夫です。お金や品物の受け渡しにも心配ありません。インフルエンザのように空気を介して（飛沫）感染することはないので、会話をしても、せき、くしゃみなどからうつりません。エイズ患者と共に暮らしながら、身の回りの世話をしたり心の支えになっている人はたくさんいます。

Q カやダニなどを介してうつらないのはなぜですか？

A カやダニの体内では、HIVは生きられません。また、カやダニなどにさされても、他人の血液が体内に入ることはありません。もしあるとしても、ごく微量のため、感染は起こりません。

Q クラミジアなどの性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすくなるって本当ですか？

A 本当です。ほかの性感染症によって性器の粘膜が傷ついていればHIVが侵入しやすいからと考えられます。

Q HIVに感染したかどうかはどうしたらわかるのですか？

A HIVに感染したかどうかは、血液検査をして初めてわかります。検査は、保健所や医療機関で受けることができます。HIVに感染した場合でも、より早く発見して医師の指導を受けることなどにより、発病までの期間を延ばすことが可能になっています。

また、感染しているかどうかを知ることによってエイズがほかの人にうつらないようにすることは、とても大切なことなのです。

Q エイズに関する相談はどこで受けられますか？

A 都道府県エイズ相談窓口や保健所を中心に相談活動を行っています。秘密は必ず守られ、他人に知られることはありません。保健所での血液検査は無料で、また匿名で受けることができます。検査結果は本人にのみ知らされます。

Q “ピル”を飲んでエイズを予防できますか？

A エイズや性感染症の予防にはまったく効果がありません。“ピル”は避妊のために医師の処方によって使う薬です。



※エイズに関する医学は刻々と進歩し、社会情勢も変化していきます。将来にわたって新しい情報と正しい知識を知り、適切に判断できるように心がけましょう。

■（財）日本学校保健会「エイズ教育情報ネットワーク」ホームページアドレス：<http://www.hokenkai.or.jp/HIV/>

●発行者/（財）日本学校保健会 ☎03-3501-0968 ●印刷/文唱堂印刷（株） ●発行（12版）/平成16年11月（平成16年度第2版）